

製品名: リン酸化ヒストン H3 (Ser28) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe02090

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

抗原情報

遺伝子名	H3C1
別名	H3 histone; family 3A; H3 histone; family 3B (H3.3B); H3.3A; H3.3B; H33; H3F3; H3F3A; H3F3B; Histone H3.3
遺伝子 ID	8350
SwissProt ID	P68431
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

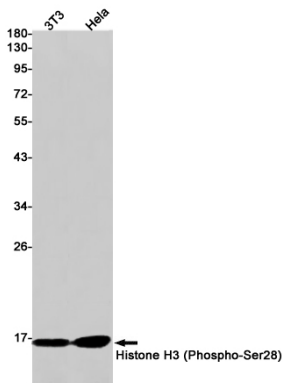
背景

H3ヌクレオソームの核となる構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

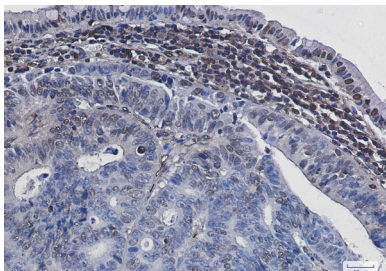
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

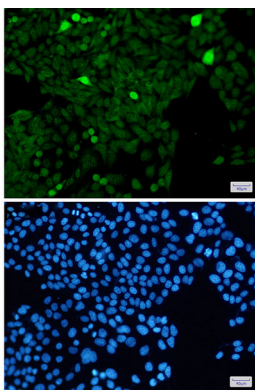
画像データ



リン酸化ヒストン H3 (Ser28) 抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中のヒストン H3 (リン酸化 Ser28) のウエスタンブロット分析。



ヒストン H3 (リン酸化 Ser28) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ヒストン H3 (リン酸化 Ser28) 抗体および DAPI (青) を用いた HeLa 中のヒストン H3 (リン酸化 Ser28) (緑) の免疫細胞化学分析